

せんたてミニしんぶん

卒業対策委員会 特集号

春らしい陽射しを感じる季節となり、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本号は2021年度せんたてミニ新聞第3号として、6年生の「卒業を祝う会」の準備などを行っている「卒対委員」の活動内容と「卒業を祝う会」の様子をお届けします。

6年生の新たな旅立ちを心から祝福すると共に、まもなく始まる新年度が皆様にとって実り多きものとなりますよう、お祈り申し上げます。



■はじめに

PTA活動の一環である卒対委員。

卒業対策委員会の略称です。小学校の卒業を祝うとともに、これまでの感謝の意を伝えるための活動を行っており、6年生の保護者が中心となって、対応しています。

卒業とともに小学校をあとにしてしまうこともあり、その内容が伝わる機会がないため、今回取材を行いました。

(例年、ミニ新聞では「卒業おめでとう号」として6年生児童の寄せ書きや写真を撮影し、全校向けに印刷・配布していましたが、卒業アルバムや文集にその役割は統合します。)



過去の卒業おめでとう号

■卒業を祝う会とは

6年間子どもたちがお世話になった教職員や地域の方々を招待して、感謝の意を表する保護者主催の集まりが、浅間堅川小学校の「卒業を祝う会」です。

一般的な「謝恩会」の一形式ですが、例年3月に、卒業式の開催日とは別日程で開催されます。

校長先生、副校長先生、6年生担任をはじめとする教職員の皆さん、地域来賓の方、PTA会長、6年生児童、その保護者が参加し、体育館で催されています。



■2021年度「卒業を祝う会」

プログラム

0 入場

1 はじめの言葉

2 感謝の言葉

3 校長先生挨拶

4 卒業生への記念品贈呈

5 児童出し物

6 お礼の言葉

7 花束贈呈

8 おわりの言葉

3月11日(金)、新型コロナウイルス対応まん延防止等重点措置の延長に伴い、当初予定から1週間順延された卒業を祝う会が開催されました。

クラスごとに入場し、子どもたちが組織した祝う会実行委員が中心となり、先生方、保護者への感謝の言葉が告げられます。

校長先生からは、卒業式までもう間もない子どもたちに向け、お祝いと励ましのメッセージが伝えられ、卒対委員とPTA本部から卒業記念品が子どもたちに手渡されます。

児童の出し物は感染防止対策のため事前に撮影、編集された大変力作の「劇」が上映されました。

最後に、児童代表から先生方への感謝の言葉、花束贈呈をもって盛会のうちに終了しました。



保護者の来場を待つ受付



会場準備は万端



続々と集まる保護者の皆さん



運動会の大漁旗とともに入場する 6年生



お世話になった先生方もご出席



校長先生のあいさつ



児童出し物の上演



先生へ花束贈呈



卒業生にぴったりの記念品

【おまけ】以前は、保護者から子どもたちへの歌のプレゼント、子どもたちの劇などの出し物などが行われていました。5年ほど前までは食事会もあったそうです。



新型コロナウイルスの影響で、2年前は祝う会自体が中止となり、昨年は来賓なしでの開催となりました。

■ 児童出し物

子どもたちは1年生から6年生までにお世話になった先生方との忘れられない思い出を振り返る寸劇を準備しました。

上映中は笑いをこらえるのが大変です。休み時間を費やしての撮影、そして動画編集。各クラス4名×5クラス、20名の祝う会実行委員を中心によく頑張りました。



1・2年生時代の劇



1・2年生時代の劇



3・4年生時代の劇



3・4年生時代の劇



5・6年生時代の劇



5・6年生時代の劇



休みの時間・給食の劇



休みの時間・給食の劇



専科時間の劇



専科時間の劇

■ 卒対委員の活動について

卒業対策委員会は、委員長、副委員長、書記、会計の四役が中心となり、各クラス2～3名程度の有志メンバーと共に「卒業を祝う会」の企画、運営、準備などを行います。

活動は、年度後半に本格化します。

装飾、記念品、プレゼント制作、会の進行などの仕事を担います。役割ごとに分担する年もありますが、今年はみんなで協力しながら活動を行いました。

(以前は、保護者からの歌のプレゼントの準備として、曲の決定、演奏の手配、音響対応や練習日程の調整などの活動も実施していたそうです。)

月	主な活動
4月	PTA役員決めにて卒対委員選出
7月	第1回会議 役割分担決め
10月	第2・3回会議 会の内容や記念品等の検討など
11月	第4回会議 記念品とプレゼント内容決定など
12月	第5回会議 プレゼント準備方法、予定確認など
1月	第6回会議 会の詳細、保護者連絡内容検討など
2月	不定期開催 ・具体的な準備の相談 ・プレゼント制作作業など
3月	不定期開催 ・会場準備、物品納品対応など ・当日対応、全体進行、運営、片付け

【中澤卒対委員長インタビュー】 ～子どもと関われる最後のタイミング～

広報委員) 卒対の魅力は何でしょう？
中澤さん) 小学校卒業という締めくくりのイベントに関わり、子どもたちの為に何かしてあげられる、という喜びでしょうか。

広報委員) 例年と比べいかがですか？
中澤さん) コロナ禍という事で、子ども達の劇がスライド上映になってしまい、卒業の歌も聞けない事が残念です。

広報委員) メッセージがあればお願いします！
中澤さん) 卒対は、保護者にとっては負担がありそうというイメージで、避ける方が毎年多いと聞いています。ですが、子どもとしっかり関われる最後のタイミングかな？とも思っています。逆に子ども達にとっては、楽しみにしている最後のイベントでもあります。子ども達、先生方に楽しんで頂ける会を運営できて、私自身、楽しんでやっています。卒対のメンバーもそのような方たちが集まってくれていますので、準備もスムーズです。皆さんが楽しんで感動して、会が終わればいいな。と心から思っています。



卒対委員のみなさん



いつの間にか小さくなってしまったランドセル。
”子どもたちの卒業をお祝いしたい”
という委員のみなさんの暖かい気持ちに支えられ、
参加者の心に残る感動的で素敵な会になりました。

委員の皆さん、本当にありがとうございました！



2022年(令和4年)3月吉日発行

発行 江東区立浅間竖川小学校
連絡先 江東区亀戸9-22-4
発行者 PTA会長 渡辺 浩一
編集 広報委員会
総児童数 854名(2021/4/1時点)